

令和元年度進行管理・評価シート
弘前市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 趣のある風景情報発信事業	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 弘前城本丸石垣整備事業	3
2 鷹揚公園整備事業	4
3 旧五十九銀行本店本館整備事業	5
4 吉野町緑地周辺整備事業	6
5 旧藤田家別邸保存修理事業	7
6 景観重要建造物保存・改修費助成事業	8
7 趣のある建物情報発信事業	9
8 弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画見直し事業	10
9 弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業	11
10 伝統的建造物群保存地区地方道改修事業	12
11 大久保堰安全柵改修事業	13
12 市民中央広場拡張整備事業	14
13 主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業	15
14 追手門広場改修事業	16
15 松並木保存管理事業	17
16 歩道改修事業	19
17 津軽塗後継者育成研修事業	20
18 津軽塗技術保存伝承事業	21
19 弘前市民俗文化財用具修理事業	22
20 レッツウオークお山参詣開催	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存、文化財の修理・整備	24
2 保存・活用を行うための施設の設置、 文化財の周辺環境の保全、文化財の防災	26
3 保存・活用の普及と啓発	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 夏を先取り山観の宵宮	30
2 弘前城と伝統芸融合 公園本丸でジパング笑楽座	
3 五輪商機 津軽塗世界へ	
4 津軽塗「ぐい呑み」世界へ 東京五輪の大会記念品プロジェクト	
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 景観ブースの開催	31

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	32
--------------------------------	-----------

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

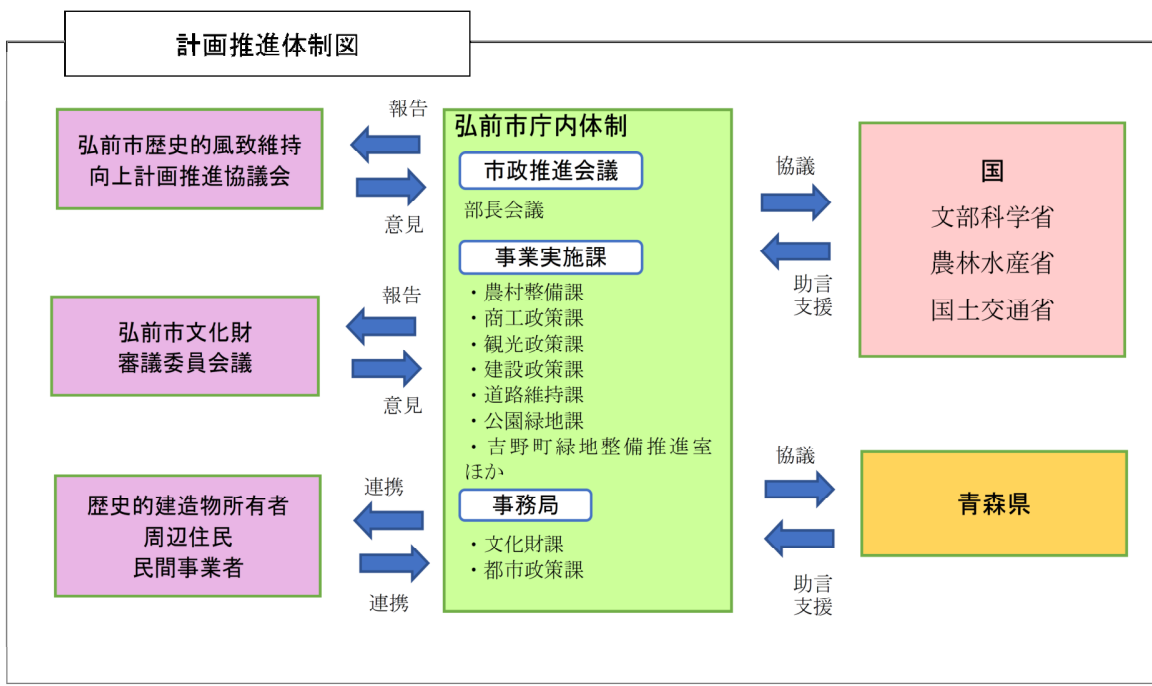
計画に記載している内容 必要に応じて国や青森県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画掲載事業の進捗状況等について、報告、意見の聴取等を実施することで計画の実効性を高めるとともに、必要に応じて計画の変更を行なうこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画の推進について、客観的な評価や意見を受けるため、有識者や市民等で組織した「歴史的風致維持向上計画推進協議会」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、関係者間での連絡を保ちながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。

状況を示す写真や資料等



●弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

- (1) 開催日 令和2年3月25日(水)
- (2) 案件 弘前市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について
弘前市歴史的風致維持向上計画について



評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
趣のある風景情報発信事業		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容 自然・歴史・文化に彩られた景観を守り、育むため、市民の意識醸成を行い、市民と一体となった景観保全を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に市民から応募のあったビューポイントをまとめた「趣のある風景散策ガイドマップ」を市民や観光客に情報発信し、弘前市の景観をPRするため、市内各所の施設等に設置、「趣のある建物散策ガイドマップ」と共に配布した。(配布部数 約20,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	—





状況を示す写真や資料等

【趣のある風景散策ガイドマップ】



【市役所正面玄関】



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
弘前城本丸石垣整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成19年度～令和6年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文化庁補助事業)		
計画に記載している内容	重要文化財である弘前城天守東面と南面の石垣の崩落の危険性が高いため、平成19年度から調査・測量を開始し、本丸石垣修理委員会等の指導を受けながら、計画的に石垣の保存修理を行う。 また、石垣の修理に伴い、天守の一時的な曳屋が必要となるため、この機に保存修理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、平成30年度完了の石垣解体工事に伴う発掘調査成果等について、石垣積直しに向けた内容の再整理、及び追加の発掘調査を実施。また、昨年度に引き続き、弘前城跡本丸石垣修理委員会及び弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会を開催し、石垣積直しに向けた、今年度の発掘調査の方針と成果について報告し了承を得た。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	調査・測量・有識者の指導により計画的に保存修理を実施する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<p>【開催日時及び会議内容】</p> <p>○弘前城跡本丸石垣修理委員会</p> <p>第1回 平成31年 4月12日 石垣積直しの土工、工法検討(案)について、天守基礎耐震補強(案)について</p> <p>第2回 令和元年 7月18日 天守台下発掘調査について、石垣修理の工法(案)について、他</p> <p>第3回 令和元年10月24日 石垣修理積直し(案)について、天守基礎耐震補強(案)について</p> <p>第4回 令和元年12月23日 天守台石垣の安定性補強案の検討について、間知石積み of 復旧方法案について、他</p> <p>○弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会</p> <p>第1回 令和元年 6月25日 発掘状況の報告</p> <p>第2回 令和元年10月 1日 これまでの発掘調査の総括について</p> <p>【追加発掘調査に関する実施概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査期間: 令和元年5月～7月 ・調査内容: 天守台下で石垣根石の有無、内濠の土層堆積状況の確認、石垣解体範囲北側では法面崩落土下から検出した木樋の調査を実施した。 			
<p>【第1回 石垣修理委員会開催状況】</p> 		<p>【第3回 石垣修理委員会開催状況】</p> 	
<p>【発掘調査状況】</p> 			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
鷹揚公園整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 当市の中心に位置し、約49haの面積を持つ鷹揚公園(弘前公園)は、国指定の史跡であるとともに、「弘前さくらまつり」の期間中だけで、約200万人を超える観光客が訪れる都市公園だが、園内施設の老朽化が著しいため施設整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

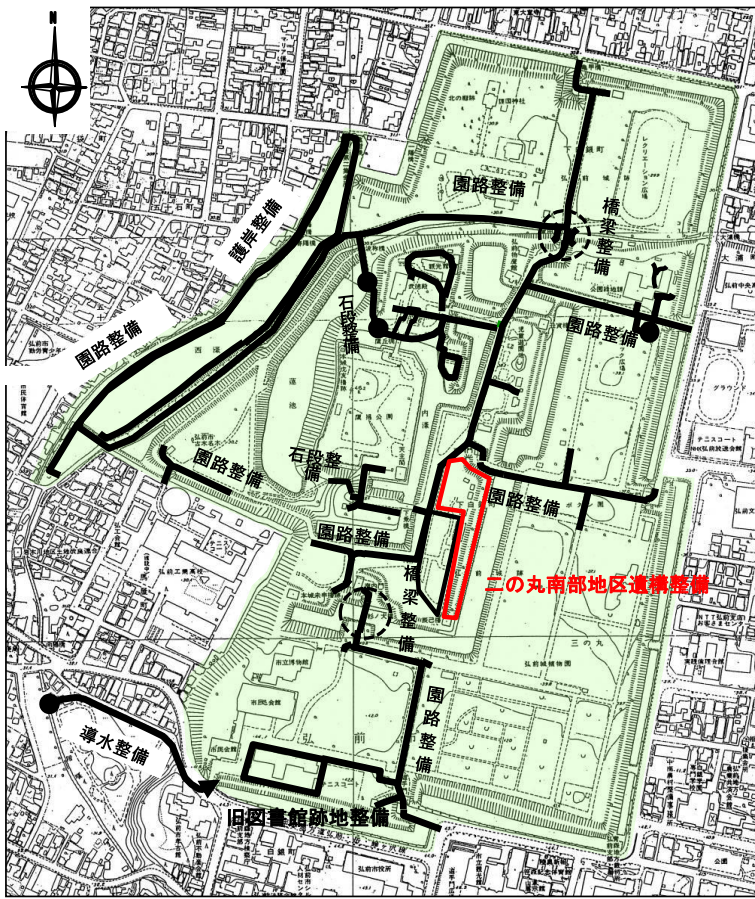
今年度は、昨年度に引き続き二の丸周辺の遺構整備工事を実施した。
 施工面積:A≒5,500㎡

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【二の丸南部地区遺構整備工事】



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
旧五十九銀行本店本館整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和元年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業

計画に記載している内容 老朽化が著しい重要文化財である旧第五十九銀行本店本館の適切な保存修復整備を行い、活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①美装化事業: 外壁漆喰の塗り直しや屋根瓦の取り替え、鉄部塗装等を行う美装化工事を実施。
- ②防災設備設置事業: 貯水槽、ポンプ室等を整備する防災設備設置工事を実施。
- ③地域活性化事業: 保存活用計画を策定の上、多様な活用のための設備改修工事を実施。
令和元年度は、美装化工事についてはバラストレード引付金物の仮補強等を行ったものの、異常気象の影響で工事全体の進捗に遅れが生じた。防災設備設置工事は令和2年3月31日に完了し、地域活性化事業については令和2年2月14日付で保存活用計画が文化庁に認定され、設備改修工事の実施設計に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 美装化工事について、異常気象により工事全体の進捗に遅れが生じたため、令和2年度中の事業完了を目指す。文化財としての価値を損なわないよう天候状況等に留意しながら進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



①美装化事業



破損しているバラストレード引付金物の仮補強を実施した。

②防災設備設置事業



適正な防火体制の構築を図るため、新たに貯水槽やポンプ室等を設置した。
 竣工: 令和2年3月31日

③地域活性化事業



令和2年(2020)3月 弘前市
 令和2年2月14日文化庁認定

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
吉野町緑地周辺整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再構築戦略事業)

計画に記載している内容 歴史的な産業遺産である吉野町煉瓦倉庫を活用し、美術館を核とする文化交流拠点の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は屋根工事(屋根葺き替え)や内装(2階床フローリング仕上げ他)・外装工事(外壁補強他)、外構工事(ミュージアムロード設置他)、設備工事(空調設備他)などの改修工事を実施し、令和2年2月末竣工。

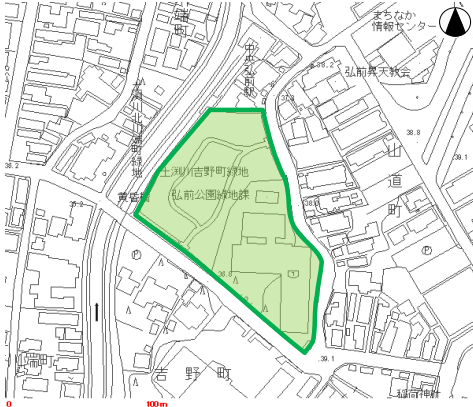
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【令和元年度改修概要】



敷地面積: 約11,500㎡
 建築面積: 約1,700㎡(延べ面積: 約3,090㎡)
 構造: 煉瓦造(一部RC造、一部鉄骨造、一部木造)



屋根工事(屋根葺き替え)
外装工事(外壁補強他)



内装工事 2階床フローリング仕上げ



外構工事 ミュージアムロード設置

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
旧藤田家別邸保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧藤田家別邸は内部を公開するなど積極的に活用しているが、築後90年以上と老朽化が著しいため、保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は、藤田記念庭園の経年劣化した受変電設備の改修を行い、保存修理事業を完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

—

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【受変電設備】



<これまでの改修箇所>

- 平成26年度：洋館暖房設備・屋根改修、考古館扉改修
- 平成27年度：洋館空調・天井・電気設備・厨房・客間・喫茶室改修
- 平成28年度：洋館便所改修、受変電設備改修
- 平成29年度：考古館改修、考古館屋根雪止め設置
- 平成30年度：冠木門改修、和館壁・畳改修

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
景観重要建造物保存・改修費助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成24年度～令和10年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容	歴史的建造物の多くは良好な景観を形成しているものの老朽化や消失が著しいため、景観法に基づく景観重要建造物に指定し、その保存及び改修費に係る経費の一部を助成する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
「開雲堂」を令和元年5月30日、景観重要建造物に指定した。(第15号) 「石場旅館」(平成24年10月16日指定・第1号)について、屋根の老朽化が著しいため、修繕工事を行い、費用の一部を助成した。	

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的建造物の特徴、価値を明確にしたうえで景観重要建造物に指定し、その価値を維持・向上する保存修繕を進める。
--	--

状況を示す写真や資料等

○景観重要建造物の指定 開雲堂

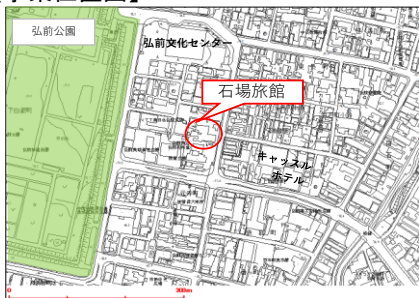
【位置図】



景観重要建造物「開雲堂」
 指定年月日 令和元年5月30日
 指定番号 第15号

○景観重要建造物「石場旅館」の屋根修繕

【事業位置図】



景観重要建造物「石場旅館」
 指定年月日 平成24年10月16日

【修繕箇所】



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
趣のある建物情報発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 文化財の指定を受けていない古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「趣のある建物」を市民や観光客に情報発信するために、指定建物を中心に観光施設等でガイドマップを配布した。(配布部数 約30,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

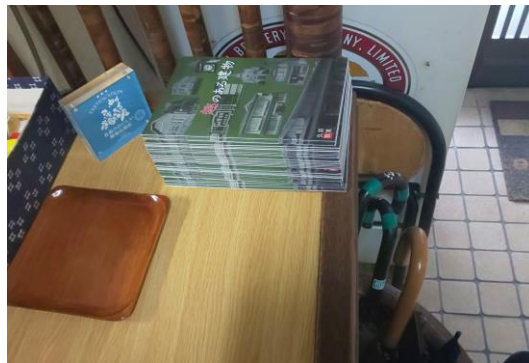
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【趣のある建物散策ガイドマップ】



【三忠食堂 塩分町分店】



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画見直し事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和2年度
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業(調査)

計画に記載している内容	地区住民の高齢化や空き家・空地の増加など様々な社会情勢の変化に伴い、保存地区としての文化的価値が損なわれることが懸念されることから、保存計画の見直しを行う。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画見直し調査】

弘前市仲町地区は、昭和53年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されているが、選定以降、地区の保存に関する基本計画である弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画(以下、「保存計画」)の見直しが行われておらず、現行の保存計画では、生活環境や社会経済状況の変化に対応することが困難となっていることから、「景観、住環境の向上による持続可能な保存地区の形成」を目標に保存計画見直しに向けた調査を平成30年度より実施しており、令和元年度は追加指定候補となる建造物の実測調査図及び修景モデルとなる伝統的建造物の様式図の作成などを行った。

①現地調査

計6回、延べ19日間(5月3～6日、6月29～30日、8月9～12日、9月2～6日、9月21～23日、10月20日)

②町並みフェア(8月9～11日)

保存地区の景観保全及び認知度向上を図るため活用イベントを開催

③見直し調査報告書作成

保存計画見直し調査の結果を記録・保存するため、調査報告書を作成

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成30年度～令和元年度までの見直し調査は、計画通り実施し、調査結果をまとめた調査報告書を刊行した。今後は、調査報告書に基づき、保存計画の見直し作業を進める。

状況を示す写真や資料等

①現地調査

令和元年5月3～6日 ほか 計6回 延べ19日間



②-1町並みフェア(令和元年8月9～11日)

弘前市無形文化財ト傳流剣術保存会による演武の様子



②-2町並みフェア(令和元年8月9～11日)

高校生への町並み保存オリエンテーションの様子



評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～令和10年度

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)

計画に記載している内容 仲町伝統的建造物群保存地区は弘前公園の北側に位置し、地区住民の協力を得ながら仲町地区武家屋敷の特徴である屋敷構、家屋、生垣等を継承している。地区住民に対し、主屋や門、板塀、サワラ生垣の修理修景に必要な経費の一部の補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度弘前市伝統的建造物群保存地区内修理修景事業費補助金
 ・修理事業費補助金(3件) 総事業費522,968円 補助金交付額218,000円(主屋壁塗装、サワラ生垣支柱交換、主屋屋根塗装)
 ・修景事業費補助金(3件) 総事業費1,746,300円 補助金交付額463,000円(薬医門塗装、板塀塗装、板塀新築)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 伝統的建造物である茅葺屋根の主屋の所有者について、屋根の修理を検討したが事業費総額が補助金の上限額を大幅に超過する見込みとなり、経済的な問題から修理が先送りとなっている事案があることから、伝統的建造物の適切な保存に向けた効果的な補助制度の見直しを図る。

状況を示す写真や資料等

・修理事業【主屋屋根塗装】



・修景事業【板塀塗装】



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
伝統的建造物群保存地区地方道改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～令和元年度

支援事業名 防災安全交付金

計画に記載している内容 地区内の市道約1,610mの無電柱化と開渠部の側溝整備、並びに消流雪溝の整備を行い景観に配慮した仕上げを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

残る区間の市道亀甲向外瀬線において通信・電力事業者による宅内工事を実施し、配線切替後に抜柱。その後、抜柱跡に側溝及び消融雪溝を設置し、舗装を一層のみ施工した。
 ○引込設備切替(通信・電力) N=1式 ○抜柱 N=6本
 ○側溝設置 N=3箇所 ○消融雪溝設置 N=3箇所 ○舗装(一層のみ) L=200m

進捗状況 ※計画年次との対応

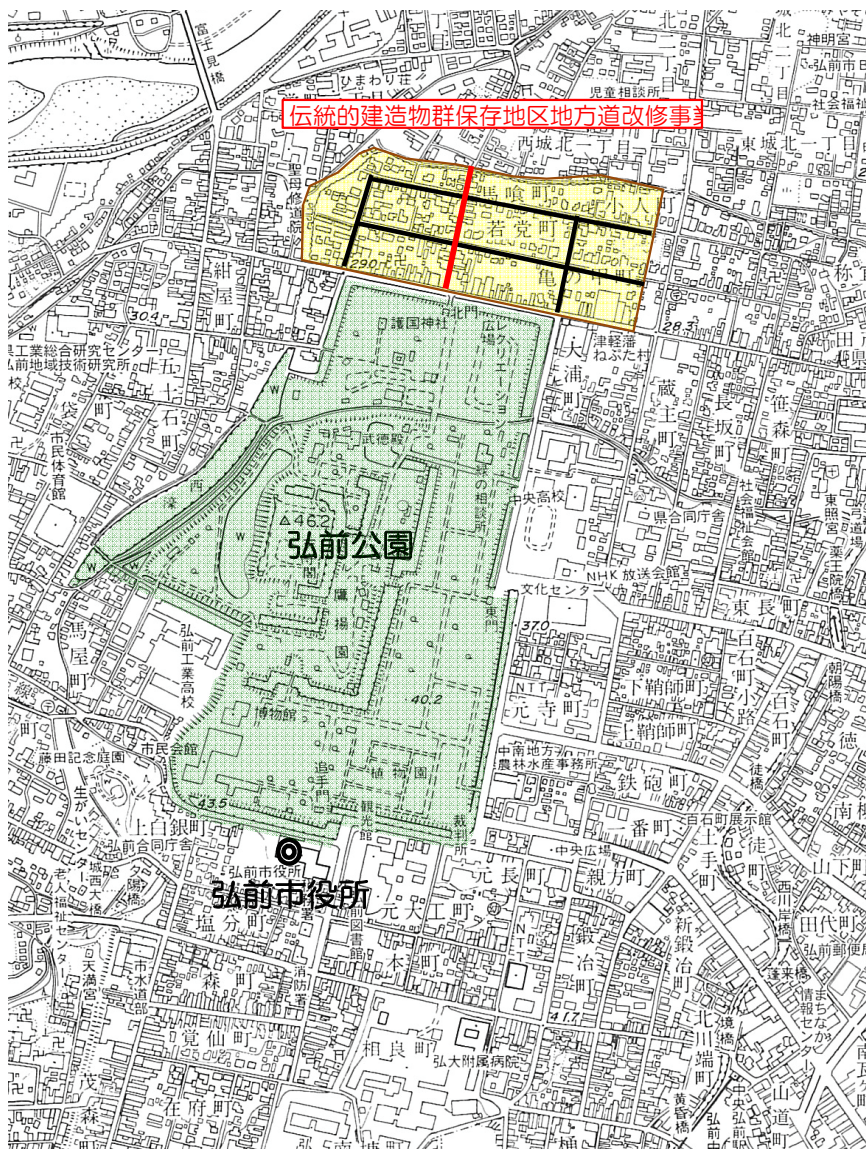
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・通信・電力事業者の抜柱が予定より遅れたことから、一部の工事が次年度に延期となった。
 ・令和2年度は、構造物塗装工事、舗装仕上げ工事で事業完了となる見込み。

状況を示す写真や資料等

【事業箇所】



【無電柱化状況】



【消融雪溝整備状況】



評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
大久保堰安全柵改修事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成30年度～令和元年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
仲町伝統的建造物群保存地区に接する大久保堰の安全柵が老朽化し、景観を阻害しており歴史的風致が損なわれているため、安全柵を景観に配慮した色への改修を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度から実施している安全柵の改修を令和元年度で完了した。
○安全柵改修
H30 L=304m完了、R1 L=30m完了(計画延長L=334m)

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) -
--	-------------------------------

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】

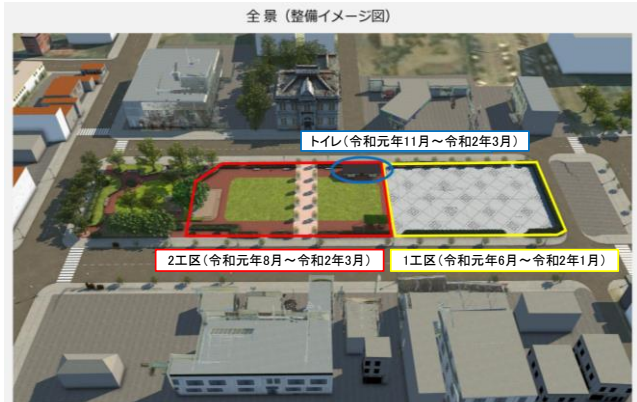
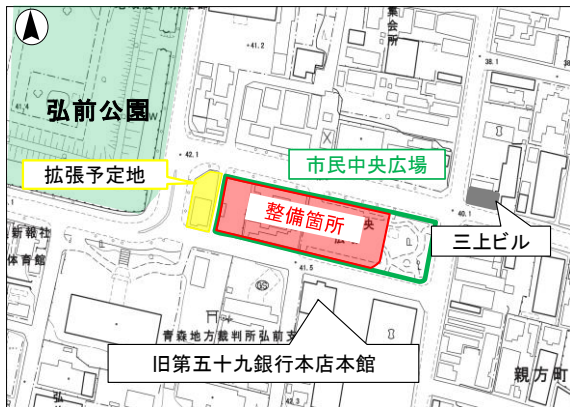


評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
市民中央広場拡張整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和元年度		
支援事業名	景観まちづくり刷新支援事業		
計画に記載している内容	市民中央広場は、弘前公園に近接する多目的広場で、「弘前ねぷたまつり」の時期には、ねぷた小屋が設置され、広場横からねぷたが出発する場所である。また、広場向かいには重要文化財である旧第五十九銀行本店本館があり、それらと一体となった景観形成のため、広場の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
広場拡張整備(1工区) 整備面積 A=1,290m ² 広場拡張整備(2工区) 整備面積 A=1,350m ² トイレ新築工事 木造平家建て 延べ面積 A=31.46m ² を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	弘前公園側の拡張予定地について、土地所有者との用地交渉に時間を要している。引き続き所有者と用地交渉を継続する必要がある。		

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【整備箇所(2工区、トイレ)】



【整備箇所(1工区)】



評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和5年度

支援事業名 防災安全交付金

計画に記載している内容
主要地方道弘前岳繻ヶ沢線の未無電柱化区間は、沿道には重要文化財である旧第五十九銀行本店本館、趣のある建物の指定を受けている田中屋、三上ビルなどがあり、さらにねぶた運行ルートでもあることから、良好な景観形成を図るため電線類を地中化する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県所管である当事業の整備区域内において、電線共同溝及び引込管設備工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

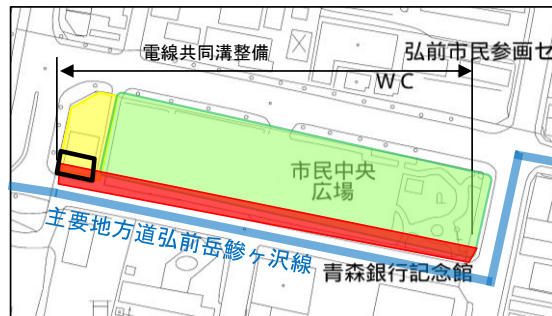
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 弘前公園側の補償物件について、建物所有者と移転時期の調整に時間を要しているが、来年度に補償物件の移転を実施する。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】

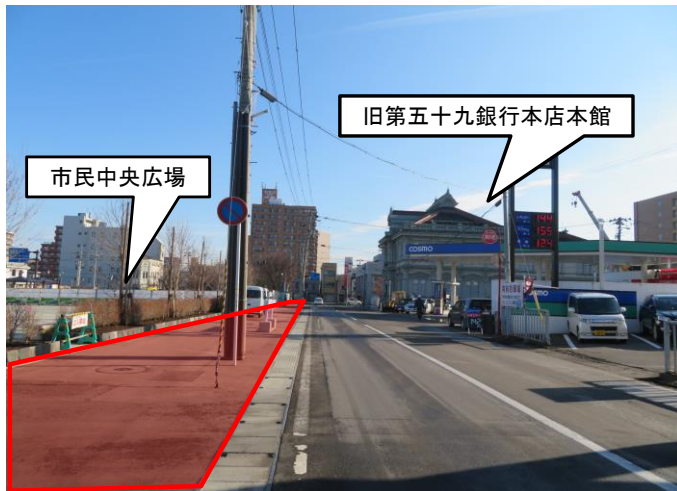


【事業箇所】



- … 補償物件箇所
- … 主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業
- … 市民中央広場整備事業(整備済み)
- … 市民中央広場整備事業(拡張予定)

【事業箇所】



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
追手門広場改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和10年度

支援事業名 景観まちづくり刷新支援事業、市単独事業

計画に記載している内容 弘前公園に隣接し、県の有形文化財(建造物)旧東奥義塾外人教師館等が配置され当市の観光・文化拠点となっている追手門広場の舗装の補修、障害者誘導ブロックの改修、ミニチュア建造物上屋及び案内板の整備等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧弘前市立図書館からの眺望確保による新たな景観の創出のため、トラス屋根を撤去(532㎡)した。また、腐食が進んでいた軽車両用スロープの改修(9㎡)を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

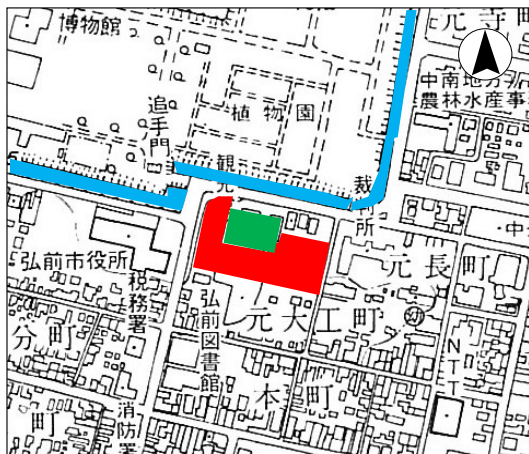
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

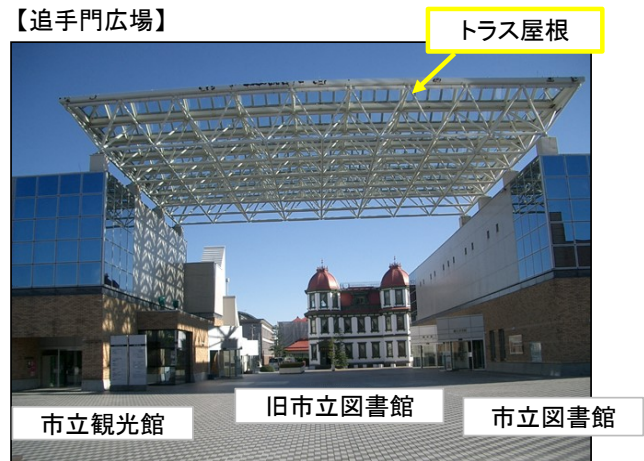
来年度も引き続き事業を実施する。なお、懸案事項となっている追手門広場のタイル舗装については、周囲環境等も勘案しながら、歴史的風致の維持・向上に寄与する施工方法を検討していく。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【追手門広場】



【トラス屋根撤去】



撤去前



撤去後

【スロープ改修】



改修前



改修後

評価軸③-15

歴史的風致維持向上の施設の整備又は管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
松並木保存管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 県の記念物に指定されている百沢街道および高岡街道の松並木は岩木山神社及び高照神社の神社建築や民間信仰行事のお山参詣と一体となって、岩木お山参詣地区の歴史的風致を形成している。この松並木の樹勢を維持させるため、松周囲及び周辺緑地の草刈りと清掃、サワラ生垣の刈込、肥料の打ち込み等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○松周囲及び周辺緑地の環境整備

①草刈り (年2回)

観光シーズンが到来する新緑の時期と、お山参詣が開催される旧暦七月晦日前までにそれぞれ実施。

- ・1回目：6月10日～14日実施
- ・2回目：8月19日～23日実施

②サワラ生垣の刈込 (年1回)

時期は問わないが、初夏から秋にかけて葉が生い茂るため、秋の行楽シーズン(岳きみ)到来までに実施。

- ・9月13日～19日実施

③施肥

- ・12月3日実施 ※今年度は適正時期より遅れて実施となった。(施肥適正時期8月～10月)
- ・施肥実施対象木：62本中44本(百沢街道)、15本中10本(高岡街道) 計54/77本
- ・使用する化成肥料：18g/本 (N:P:K=17:10:10)
マツ1本に対し9～15本使用(幹回りに応じて調整)
総打ち込み本数：640本

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

お山参詣に見る歴史的風致の維持及び向上のため、松並木のマツ及び周辺の環境を計画的に維持管理することで、景観形成及び文化財(県記念物)である松の生育状況を良好に保つことが必要である。

状況を示す写真や資料等

○松周囲及び周辺緑地の環境整備

①草刈り

【施行前(1回目)】



百沢街道: 令和元年6月10日

【施行後(1回目)】



百沢街道: 令和元年6月14日

【施行前(2回目)】



百沢街道: 令和元年8月19日

【施行後(2回目)】



百沢街道: 令和元年8月23日

②サワラ生垣刈込
【施行前】



百沢街道: 令和元年9月13日

【施行後】



百沢街道: 令和元年9月19日

③施肥
【施工のようす】



百沢街道

【施工のようす】



高岡街道

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歩道改修事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和元年度

支援事業名 景観まちづくり刷新支援事業

計画に記載している内容 JR弘前駅から弘前公園、禅林街を結ぶルート上においてレトロモダンな観光周遊ルートを形成するため、弘前公園の追手門に面する市道上白銀町新寺町線及び禅林街の歩道美化を行い、歴史的建造物と一体となったより良い街並み景観を形成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・西茂森町線 禅林街の歩道改修(美化) 予定区間の施工をすべて完了
施工延長 L=989.9m
- ・上白銀町新寺町線 市役所側の歩道改修(美化) 予定区間の施工をすべて完了
施工延長 L=90.2m (※観光館側 L=87.5m H30施工済み)

進捗状況 ※計画年次との対応

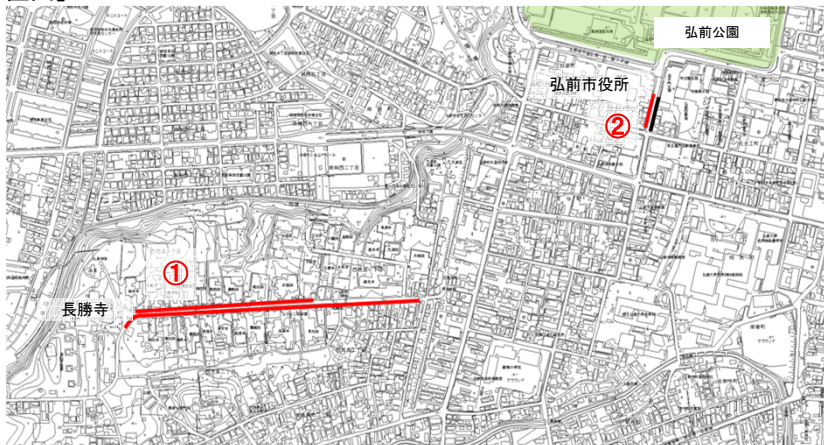
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

—

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



- 令和元年度実施箇所
- 平成30年度実施箇所

①西茂森町線歩道改修



②上白銀町新寺町線歩道改修



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
津軽塗後継者育成研修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成19年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	津軽塗業界の高齢化に伴う後継者不足を解消するため、津軽塗を生業として目指す若者を対象に津軽塗の基礎技術を体得するための研修を行う団体に対して経費の一部を助成する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【令和元年度実施状況】
 研修生:3名(令和2年3月現在) ※令和2年度に新たに2名を募集する予定。
 研修期間:平成30年9月5日～令和4年3月31日までの概ね3年半
 研修項目:津軽塗に関する講義、木地作り、下地作り、道具の使い方、津軽塗4技法習得のための技術研修及び成果発表展示。
 研修時間:月・水・金の午前9時から12時まで

※これまで11名が研修を修了し、うち6名が津軽塗職人として活動中。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	研修終了後の雇用先の確保が困難となっているため、市内の津軽塗関連事業者と連携し、さらなる技術研鑽や津軽塗業界での就業ができるようサポートを行っていく。
--	---

状況を示す写真や資料等

研修の様子1



研修の様子2



成果発表会の様子1



成果発表会の様子2



評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
津軽塗技術保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	津軽塗の重要無形文化財への指定、津軽塗技術保存会の保持団体への認定によって全国的に価値が認められる一方、その技術を継承する後継者の不足が課題となっているため、津軽塗技術保存会に対し、会員の技術の研鑽及び後継者育成を行う活動経費の一部を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
津軽塗技術保存会が実施する技術の研鑽及び後継者育成に必要な経費の一部を補助。 <津軽塗技術保存会 令和元年度活動状況> (1)後継者育成:塗研修生4名、木地研修生2名 (2)再現作品制作:津軽家に伝来した漆塗手板の技法を用いた津軽塗作品を制作。 30年度から2か年かけてお椀を制作。 (3)特別発表会:市民・観光客等を対象とした津軽塗作品等の展示及び販売、津軽塗に関する解説パネルの展示。 平成31年4月20日～4月29日、令和元年11月1日～4日 旧紺屋町消防屯所(弘前市) (4)成果発表会:これまでの活動について紹介するとともに、伝承者育成事業の研修生の制作作品等を展示 令和2年3月13日～15日 旧紺屋町消防屯所(弘前市)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		保存会の津軽塗技術伝承については体制の構築が急務であるが、市としては今後も引き続きより一層のサポートを行っていく。	
状況を示す写真や資料等			

【後継者育成研修(塗研修)の様子】



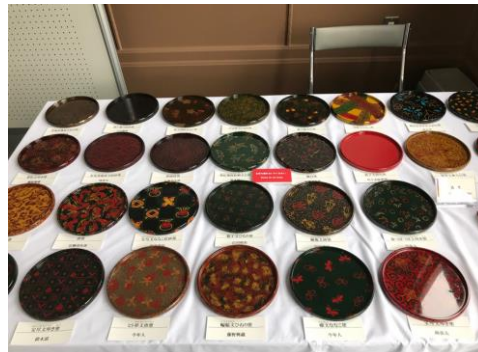
【再現作品制作の様子】



【特別発表会の様子】



【成果発表会の様子】



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
弘前市民俗文化財用具修理事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	昭和58年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 弘前市の指定無形民俗文化財を伝承する各団体は、その母体が地区の集落単位であり、有志による運営が多いことから財政基盤が弱く、伝承活動に必要な用具の確保が困難な状況になっているため、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら伝承活動に必要な用具の修理や更新に係る経費の一部の補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定無形民俗文化財保存団体の活動に必要な用具・衣装の修繕料及び購入費の一部を補助。
 令和元年度は、松森町津軽獅子舞保存会(本染め着物の購入費)に対し補助金を交付。

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 後継者の裾野を広げるため、更なる普及活動等が必要である。

状況を示す写真や資料等

【本染め着物(松森町津軽獅子舞保存会)】



評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
レッツウォークお山参詣開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要無形民俗文化財であるお山参詣を市民や観光客が体験できるよう、一般の人が参加できる「レッツウォークお山参詣」を開催する団体へ助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

レッツウォークお山参詣実行委員会(事務局:岩木山観光協会)に対して、事業費の一部補助を行いイベントを開催、歴史的風致の維持・向上に努めた。また、平成29年度からの継続で、温泉地の食・自然・歴史文化をウォーキングで体感するイベント「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」としても開催し、敷居を低くすることでより多くの参加を促し、歴史的風致への理解を深める機会として展開した。

イベント開催日:8月29日 イベント参加者数:384人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的風致の維持・向上に寄与するものであることから、来年度も引き続き事業を実施する。

状況を示す写真や資料等



白装束を身にまとい岩木山神社を目指している様子



大幟(おおはた)及び五色幡(ごしきばた)を掲げている様子



御幣(ごへい)、大幟(おおはた)、五色幡(ごしきばた)を掲げ、「サイギ、サイギ」の唱文を唱えながら練り歩く様子



「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」の一環で、岩木地区の名産品・嶽きみを参加者に振舞っている様子

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の保存、文化財の修理・整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 弘前にのこる歴史的なまちなみ、伝統工芸や民俗芸能を保存するため、所有者や保存団体との連携を深めて、保存修理や伝承活動への助成を適正に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の保存

- ①国指定名勝:3件指定【成田氏庭園、對馬氏庭園、須藤氏庭園(青松園)】
- ②埋蔵文化財:詳細分布調査を1地区で実施。
- ③民俗芸能団体に対する後継者育成事業等への補助(1団体)。伝統工芸(津軽塗)後継者育成への補助。

○文化財の修理・整備

- ①弘前城跡整備
 - 1)津軽氏城跡保存修理事業(再掲)
 - ・弘前城本丸石垣整備事業(H19～R6年度)
 - 令和元年度は、昨年度完了の石垣解体工事に伴う発掘調査成果等について、石垣積直しに向けた内容の再整理等を行った。
 - 2)鷹揚公園[史跡津軽氏城跡]整備事業(H20～R2年度)(再掲)
 - 令和元年度は、昨年度に引き続き二の丸周辺の遺構整備工事を実施した。
- ②旧弘前偕行社保存修理事業
 - 事業期間:H24～R元年度
 - 令和元年度は、絨毯、リノリウム、樹脂シート敷込などの内装工事等を実施し、事業が完了した。
- ③石場家住宅保存修理事業
 - 事業期間:R元～R2年度
 - 令和元年度は構造軸組図の作成や地盤調査等を実施した。
- ④旧弘前偕行社文化財建造物等活用地域活性化事業
 - 事業期間:H28～R元年度
 - 令和元年度は管理棟増築工事等を行い、事業が完了した。
- ⑤津軽為信霊屋正門保存修理事業
 - 事業期間:R元年度
 - 屋根の部分葺替や傷みのある軒天板等の部材の取替を実施し、事業が完了した。
- ⑥旧第五十九銀行本店本館整備事業(再掲)
 - 1)旧第五十九銀行本店本館美装化事業
 - 事業期間:H30～R元年度
 - 令和元年度はパラストレード引付金物等の修理を実施した。
 - 2)旧第五十九銀行本店本館文化財建造物等活用地域活性化事業
 - 事業期間:H30～R2年度
 - 令和元年度は保存活用計画を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財の本質的価値を守るため、適正な資金計画が必要である。

状況を示す写真や資料等

文化財の修理・整備

②旧弘前偕行社保存修理事業



施工前



施工後

屋根瓦の破損や塗装の剥落など全体的に老朽化が著しかった。

明治40年の竣工当時の姿に復元し、併せて耐震補強工事を実施した。
竣工:令和元年12月27日

③石場家住宅保存修理事業



「重要文化財(建造物)耐震診断指針」に基づき、構造補強案の検討のため、ボーリングによる地盤調査等を行った。

④旧弘前偕行社文化財建造物等活用地域活性化事業



空調設備及び照明設備を整備した。
竣工：令和2年2月28日



さらなる多様な公開活用を図るため、
管理棟を増築した。
竣工：令和2年2月28日

⑤津軽為信霊屋正門保存修理事業



屋根を中心に老朽化が進んでいた。



屋根葺替等を実施したことで、史跡景観の
向上が図られた。
竣工：令和元年9月27日

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
保存・活用を行うための施設の設置、文化財の周辺環境の保全、文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 史跡である大森勝山遺跡のガイダンス施設の整備などの進展に伴い、先史時代について深く学ぶ施設等の整備を目指す。また、仲町伝統的建造物群保存地区内で、電線類の地中化を進める。さらに、重要文化財(建造物)の防災設備及び防犯設備の整備を順次進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の周辺環境の保全
 ①伝統的建造物群保存地区地方道改修事業について、令和元年度は市道亀甲向外瀬線において通信・電力事業者による宅内工事等を実施した。(再掲)
 ○文化財の防災・防犯
 ①文化財防火デーに合わせて重要文化財革秀寺において防災訓練を実施。
 ②旧第五十九銀行本店本館整備事業
 防災設備設置事業(再掲)
 事業期間:H30~R元年度
 令和元年度はポンプ室や貯水槽の設置等を実施し、事業が完了した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	—
--	---

状況を示す写真や資料等

文化財の防災・防犯

①文化財防火デーに合わせて1月26日に、重要文化財革秀寺において防災訓練を実施。



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
保存・活用の普及と啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財建造物の一般公開と修理現場の公開を行う。また、民俗芸能等の記録保存を行うとともに、公開・情報発信できる場を設けるように支援する。さらに、史跡等で発掘現場を公開し、その成果を積極的に発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○保存・活用の普及と啓発

①「津軽塗技術保存会特別発表会」開催(再掲)

市民・観光客等を対象とした津軽塗作品等の展示及び販売のほか、津軽塗に関する解説パネルの展示などを行った。4月20日～4月29日、11月1日～4日に実施。参加人数:延べ1,231人

②「堀越城跡現場見学会」開催

復元工事が竣工した旧石戸谷家住宅や整備工事中の三之丸東地区整備工事現場などの見学会を実施。5月26日に実施。参加人数:242人

③「ちびっこ縄文講座」開催

市内の小学生を対象に、地区内に残る文化財の調査学習や土器づくり体験などを実施。6月24日、7月10日、10月16日、10月24日に実施。参加人数:延べ104人

④「史跡堀越城跡整備現場見学会及び体験学習会」開催

地元の小学生を対象に、堀越城跡整備工事現場等の公開や壁新聞を作成する体験学習会を実施。7月12日、9月30日に実施。参加人数:延べ146人

⑤「大森勝山じょうもん祭り」開催

埋蔵文化財担当職員による解説付の遺跡案内ツアーなどを実施。8月4日に実施。参加人数:431人

⑥「弘前城本丸石垣修理 令和元年度記念イベント」開催

現場遺構公開説明や石垣解体経過報告などを実施。8月11日に実施。参加人数:480人

⑦「ひろさき歴史体感ツアー」開催

大森勝山遺跡と亀ヶ岡石器時代遺跡、堀越城跡と黒石陣屋跡、如来瀬石切丁場跡と長勝寺を巡るツアーを実施。8月18日、24日、25日に実施。参加人数:119人

⑧重要文化財旧弘前偕行社保存修理現場特別公開

保存修理実施中の旧弘前偕行社の修理現場を特別公開。見学人数を定めて3回実施。8月25日に実施。参加人数:80人

⑨「堀越城秋まつり」開催

城郭の専門家らによるシンポジウムや整備現場見学会などを実施。9月29日に実施。参加人数:623人

⑩「縄文遺跡シンポジウム」開催

考古学の専門家らによる講演やパネルディスカッションを実施。10月5日に実施。参加人数:135人

⑪「漆サミット」開催

国産漆の安定確保や普及啓発を図るため、講演会やワークショップ、現地見学会などを実施。10月13日、14日、11月15日～17日に実施。参加人数:延べ322人

⑫「十腰内文化シンポジウム」開催

十腰内文化の重要性について認識を深めるシンポジウムを実施。11月16日に実施。参加人数:104人

⑬「世界遺産シンポジウム」開催

市民の世界遺産登録推進と大森勝山遺跡への関心と理解の促進を図るシンポジウムを実施。2月11日に実施。参加人数:108人

⑭「まちなかクラフト村」開催

市内の工芸品の展示・販売を実施。4月2日～4月11日ほか計18回実施。参加人数:延べ13,204人

⑮その他学習支援及び一般説明等

小中学校の学習支援として文化財の公開活用及び一般市民等への説明等を実施。実施回数24回 参加人数:921人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財保護の裾野をひろげるためにも小中学校との連携は今後も継続して実施していく必要がある。

①「津軽塗技術保存会特別発表会」



平成31年4月20日～29日ほか
参加人数:延べ1,231人

②「堀越城跡現場見学会」



令和元年5月26日 参加人数:242人

③「ちびっこ縄文講座」



令和元年6月24日ほか 参加人数:延べ104人

④「史跡堀越城跡整備現場見学会及び体験学習会」



令和元年7月12日、9月30日 参加人数:延べ146人

⑤「大森勝山じょうもん祭り」



令和元年8月4日 参加人数:431人

⑥「弘前城本丸石垣修理 令和元年度記念イベント」



令和元年8月11日 参加人数:480人

⑦「ひろさき歴史体感ツアー」



令和元年8月18日ほか 参加人数:119人

⑧「重要文化財旧弘前借行社保存修理現場特別公開」



令和元年8月25日 参加人数:80人

⑨「堀越城秋まつり」



令和元年9月29日ほか 参加人数:623人

⑩「縄文遺跡シンポジウム」



令和元年10月5日ほか 参加人数:135人

⑪「漆サミット」



令和元年10月13日ほか 参加人数:延べ322人

⑫「十腰内文化シンポジウム」



令和元年11月16日 参加人数:延べ104人

⑬「世界遺産シンポジウム」



令和2年2月11日 参加人数:108人

⑭「まちなかクラフト村」



平成31年4月2日ほか 参加人数:延べ13,204人

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	令和元年度 掲載紙等
夏を先取り山観の宵宮	R元.5.22		東奥日報
弘前城と伝統芸融合 公園本丸でジパング笑楽座	R元.8.26		陸奥新報
五輪商機 津軽塗世界へ	R元.12.26		東奥日報
津軽塗「ぐい呑み」世界へ 東京五輪の大会記念品プロジェクト	R2.1.31		陸奥新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

例年、当市のトップを切って行われる山観の宵宮や、弘前城と伝統芸能の融合など、歴史的風致の活用及び維持向上に関する話題が新聞で取り上げられた。また、国重要無形文化財である津軽塗が東京オリンピックの大会記念品や公式商品になる等、当市の歴史的風致の魅力が周知された効果は高い。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

今後とも、計画の着実な着実な推進により、実施事業等を報道機関に取り上げられる機会を増やす。

状況を示す写真や資料等

(1) 令和元年5月22日 東奥日報 掲載



(2) 令和元年8月26日 陸奥新報 掲載



(3) 令和元年12月26日 東奥日報 掲載



(4) 令和2年1月31日 陸奥新報 掲載



(1)(3) 東奥日報社提供

この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

(2)(4) 陸奥新報社提供

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。

項目

景観ブースの開催

計画に記載している内容 地域の歴史資源の認識のさらなる向上のため、文化財に指定されていないものの、当市の風情を醸し出している建物の情報発信に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

弘前大学総合文化祭において、当市が有する景観資源である歴史的建造物についての周知及び情報発信を行う景観ブースを開催し、市民の景観や歴史的建造物の保全に対する意識啓発や地域資源の気づきの向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

弘前ナンバーのPRと共に景観ブースを開催し、相乗効果により注目を引くことができた。将来につながる継続的な景観保全のために、弘前市の景観や地域資源についての意識啓発など、全世代に触れやすい機会の創出に取り組んでいく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【景観ブース(弘前大学総合文化祭)】
「前川國男建築から始まる日本の近代建築ツーリズム」
令和元年10月27日 参加者約700名

来場者に配布した前川國男建築プリントビスケット



コメントが出された会議等の名称: 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時: 令和2年3月25日

(コメントの概要)

■ 議事の内容

- ・計画の進捗評価について
- ・計画の軽微な変更について

■ 計画の進捗評価についてのコメント

- ・市民中央広場拡張整備事業について、広場が整備され景観が良いものとなっているので、未施工箇所の今後の予定を教えてください。

■ 計画の軽微な変更についてのコメント

- ・副市長の挨拶で弘前れんが倉庫美術館は4月開館とおっしゃっていたが、日付はいつなのか教えてください。
- ・計画書を見て、初めて写真で自宅(高木静一商店)の前で獅子舞が舞っているのを見た。内部は住みやすい形に改造しているが、外観だけでも街の人に愛されるように建物を保ってきたいと思う。



(今後の対応方針)

市としても歴史的建造物の保全が重要であると感じているので、引き続き国土交通省の補助金等を活用しつつ、建造物の所有者に対し外観修景の支援をしていく。